



4日(月)は立春でした。暖かい日和となりましたね。前日の3日(日)は節分でした。子どもたちから「家に鬼が来た。豆をまいてやっつけた」という報告もありましたが、豆まきをされた家庭が多かったようでした。「野菜をたくさん食べる」と鬼と約束した子どももいたようで、それぞれに豆まきを楽しんだ様子がうかがわれました。日本のよき伝統行事だと思います。

○ 豆まき会をしました。

2月1日(金)の午前中、節分前でしたが豆まき会をしました。

幼稚園部は、初めにホールで豆まきについての話や手遊び、パネルシアターなどで楽しみました。その後、それぞれのクラスで豆まきをしました。途中、ホールや各クラスにいろいろな鬼が現れました。ホールに来た鬼はどちらかというと優しい鬼でしたが、クラスに現れた鬼はけっこう怖そうな形相でした。そのため、中には怖がる子どももいましたが、懸命に豆を鬼めがけてまいていました。

保育園部は、0歳児と1歳児と一緒に、2歳児は単独で豆まき会を行いました。どちらも、豆まきの最中に、赤鬼が現れ、みんなで豆をまいて、鬼退治をしました。

ご協力いただきました保護者の会役員の皆さん、親父の会の皆さん、ありがとうございました。



○ 来年度入園者(1号認定)への説明会を行いました。

2日(土)の午前中、来年度、本園に入園する1号認定子どもの保護者を対象に、入園説明会を行いました。約40名の保護者が子どもを連れて来られました。

説明会では、初めに私から入園に関する「重要事項説明」の資料をもとに説明をさせていただきました。

その後、担当の職員から、より具体的に資料をもとに説明を行いました。説明終了後に、事前に注文されていた制服や教材等を受け取っていただき、解散となりました。

来年度は、10月から3歳から5歳の子どもの対象に保育料が無償化されますので、本紙No.38で紹介した内容をお伝えしました。

2号認定や3号認定子どもの保護者を対象とした説明会は3月に行うこととしております。



○ 年中組、年長組の子どもたちがマラソン会をしました。

5日(火)の午前中、年中組と年長組の子どもたちが、近くにある文化の森の中央公園に行って、マラソン会をしました。当日は曇り空で、ちょっと肌寒かったのですが、子どもたちは最後まで、元気で走りきることができました。年中組の子どもたちは、1周100m程度のコースを4周、年長組の子どもたちは公園の外周を2周しました。どちらも最後の1周は自分の速さでしっかりと走りきりました。途中で、転んだ子どももいましたが、がんばって最後まで走りきり、たくましさを感じました。

公園には保護者の皆さんがたくさん応援に駆けつけてくださいました。おかげで、子どもたちは最後までがんばって走ることができました。応援、ありがとうございました。



年中組の子どもたち



年長組の子どもたち

○ 避難訓練にスーパーレスキュー車が来ました。

6日(水)の午前中、地震から火災発生を想定した避難訓練を行いました。

今回は、宮崎市消防局東分署から消防署員3名が県内に1台しかないスーパーレスキュー車に乗って来ていただきました。避難訓練は、天候不順だったため、避難場所を園庭から2階ホールに変更して行いました。子どもたちは、先生の指示をよく聞いて、鼻や口を手で押さえて静かにホールに避難することができました。ホールでは、消防署の方からお話を聞いて、訓練を終わりました。消防署の方からは、「静かに早く避難ができていて、よかったです」とほめていただきました。

訓練後は、天気も回復してきたので、園庭に出てスーパーレスキュー車を見学したり、記念写真を撮ったりしました。子どもたちは消防車を間近に見ることができて、喜んでいました。



○ 虐待はなぜ起きる？

今、テレビや新聞で小学4年生の女兒が虐待を受け続けていて、自宅で死亡した事件について、頻繁に報道されています。これまでも児童虐待の報道はたびたび目にしています。なぜ児童虐待はなくなるのでしょうか。虐待をした保護者の多くの言い分は「しつけをした」です。しつけと虐待の違いは？

子どもは親の所有物ではありません。もし、親が「自分も子どもの頃、親から叩かれてしつけられ、育てられてきたから、自分の子どもが悪いことをしたら、同じように叩いてしつける」という考えをもっていたら、虐待はなくなるでしょう。そのような考え方は変えなければならないと、私は思います。